

# 金沢仏壇

## 歴史

文明3年(1471年)に蓮如上人が加賀と越前の境の吉崎で浄土真宗の布教をはじめた。加賀一円にその教えが広がった。各集落に道場が設けられるようになり、信仰の寄り合いの場となるとともに各地に御講ができ、仏壇の必要性も生まれた。

藩政時代に入って、金沢で仏壇が本格的に製造されるようになった。特に、3代藩主前田利常(17世紀後半)は、京都・江戸などから加賀藩細工所に名工職人を呼び、美術工芸の基礎を築いた。その後、多くの職人が住みつき、木地師、塗師、蒔絵師、彫刻師、金具師の完全分業体制で製作にあたるようになった。

## 特色

最大の特色は、加賀蒔絵の伝統を受けた上品な蒔絵の美しさと変色しないことである。また、木地は耐久性を重視し、骨組みはアオモリヒバを主に使い、柄[ほぞ]組で組み立てているため、堅牢な仕上がりとなっている。

木肌を生かした彫刻、加賀彫りの金具、障子の紗生地に金糸の刺繍、錆紐[さびひも]引きと呂色[ろいろ]仕上げ、蒔絵に施された象牙や青貝の象嵌、金箔を使った加飾等の豪華な仕上がりは美術工芸品の風格を兼ね備えている。



## 金沢佛坛

### 历史和特色

1471年，莲如上人在加贺和越前的边界处——吉崎开始布教，宣扬净土真宗，其教义在加贺一带广为流传。信徒们为了提高信仰在各个村落开设道场，因此佛坛的必要性就产生了。

到了17世纪，金泽开始正式制造佛坛。17世纪后期，第三代藩主前田利常从京都和江户招揽能工巧匠，致力于振兴加贺的美术工艺。其后，众多能工巧匠移住到金泽，木工匠、漆工匠、泥金画师、雕刻工匠、金属零件工匠等分工制作佛坛，佛坛制造技术由此得到发展。

金泽佛坛的特色是使用了美丽优雅的泥金画技术和耐久性强的木材。

### 情報 资讯

主な生産地(主要产地)	金沢市(金泽市)
主な製品名(主要产品名)	仏壇(佛坛)
主な生産者(主要生产者)	金沢仏壇商工業協同組合(金泽佛坛商工业协同组合) 〒920-0855 金沢市武蔵町8-2瀬沢ビル3F(金泽市武蔵町8-2 瀬沢大厦3F) TEL (076)223-4914 FAX (076)232-6714 MAIL info@kanazawa-but sudan.or.jp http://kanazawa-but sudan.or.jp